

Back In Focus説明書

Back In Focusを使って何ができる？

Back In Focusはピントがズれている写真をもっと綺麗にみえるようにするユーティリティです。6つのアルゴリズムを使って、写真の一部、または全体を修正することができます。修正前と修正後の写真を比べることもできます。大事な写真のピントがズれている部分を簡単に直せます。イメージ作成には非常に便利なツールです。

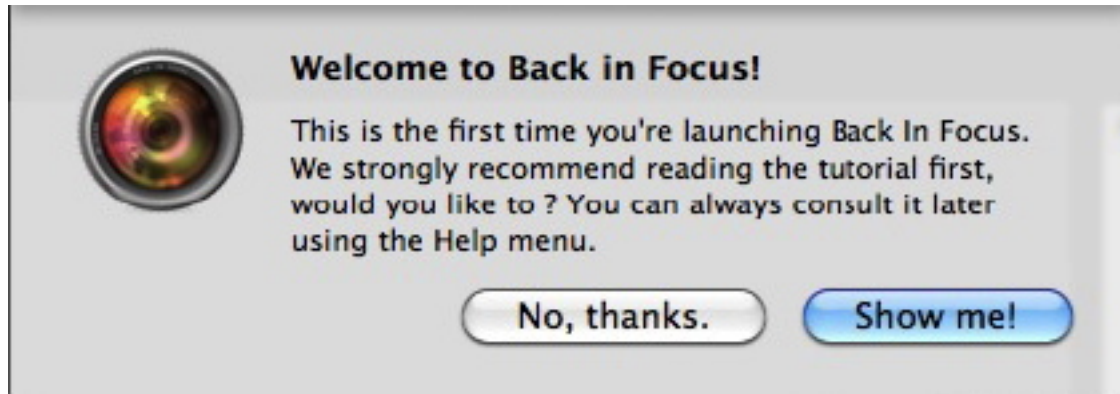
対象 OS

Mac OS 10.6以上、10.7対応

Back In Focusの起動

「アプリケーション」フォルダにある「Back In Focus」アイコンをダブルクリックします。

初めて起動するときに、下記の画面が表示されます。



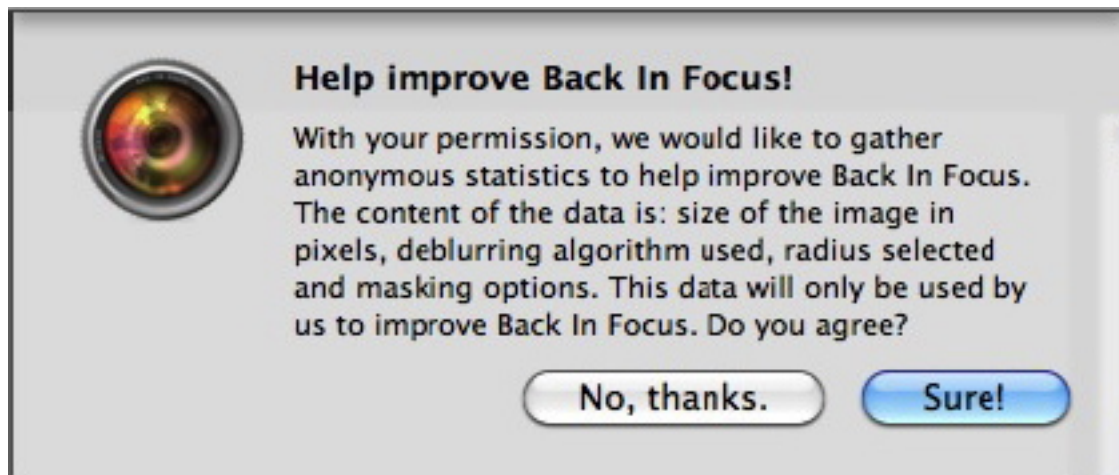
「Show Me!」をクリックするとチュートリアル（英語）が表示されます。このチュートリアルは「Help」メニューからも表示させることができます。

「No, thanks」をクリックするとチュートリアルを表示しないでソフトが立ち上がります。

データ収集のスクリーン

はじめて起動するとき、下記のスクリーンが表示されることがあります。

これは、ソフト開発のためにBack In Focusの作業データをあなたのコンピュータから収集していいかどうかを聞いている画面です。収集されるデータはイメージの大きさ、使用されたアルゴリズム、設定された範囲とマスクの設定です。

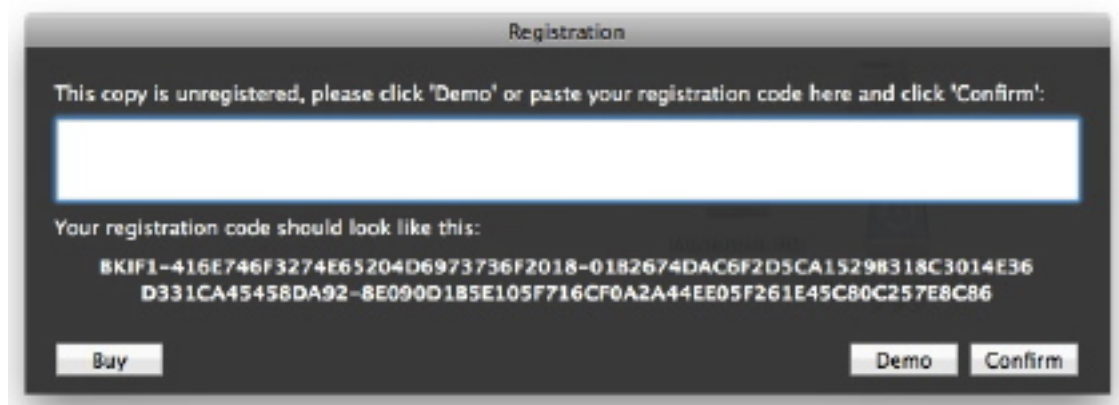


「No, thanks.」をクリックするとデータは収集されない。

「Sure」をクリックするとデータは収集される。

シリアル番号の入力

まだ未購入の場合は下記の画面が表示されます。



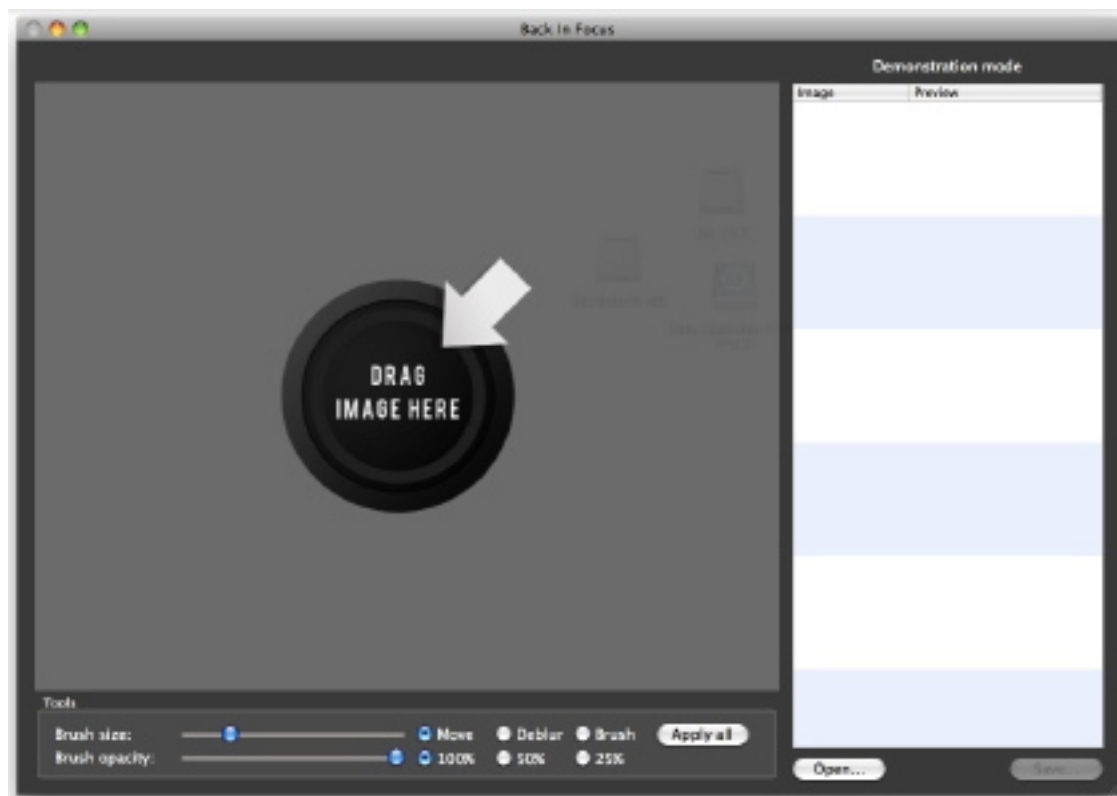
ご購入の際、メールで届いたシリアル番号を入力して、「Confirm」をクリックします。体験版が製品版に変わります。体験版を使う場合は「Demo」をクリックして下さい。体験版が起動します。

「Buy」をクリックするとBack In Focusの購入ページに接続されます。

<http://www.infinisys.co.jp/product/backinfocus/index.shtml>

Back In Focusを使う

Back In Focusが起動すると下記の画面が表示されます。



修正したい写真をここにドラッグします。（または「Open」をクリックしてファイルを指定します。）



右側に3つのイメージが表示されています。「Original」は修正前のイメージ、「Reconstructed」は修正後のイメージ、「Original vs Reconstructed」は比較するため、修正前と修正後の写真を並べて表示します。

写真を動かす

写真の全体が表示されない場合、画面の下にある「Move」ボタンをクリックしてからマウスで写真を動かさせます。編集したい部分が表示されるように写真を動かします。

ピントを直す

写真をダブルクリックするか、「Deblur」ボタンをクリックしてから写真をクリックします。下記のような画面になります。



アルゴリズムの選択

右側にいくつかのアルゴリズムが表示されています。矢印のキーまたはマウスを使ってアルゴリズムを選択できます。修正される内容（髪の毛、肌、服、模様など）によって一番適切なアルゴリズムが異なりますので複数のアルゴリズムを試してみてください。「Radius」のスライダーの設定も変えてみてください。

各フィルタの特徴

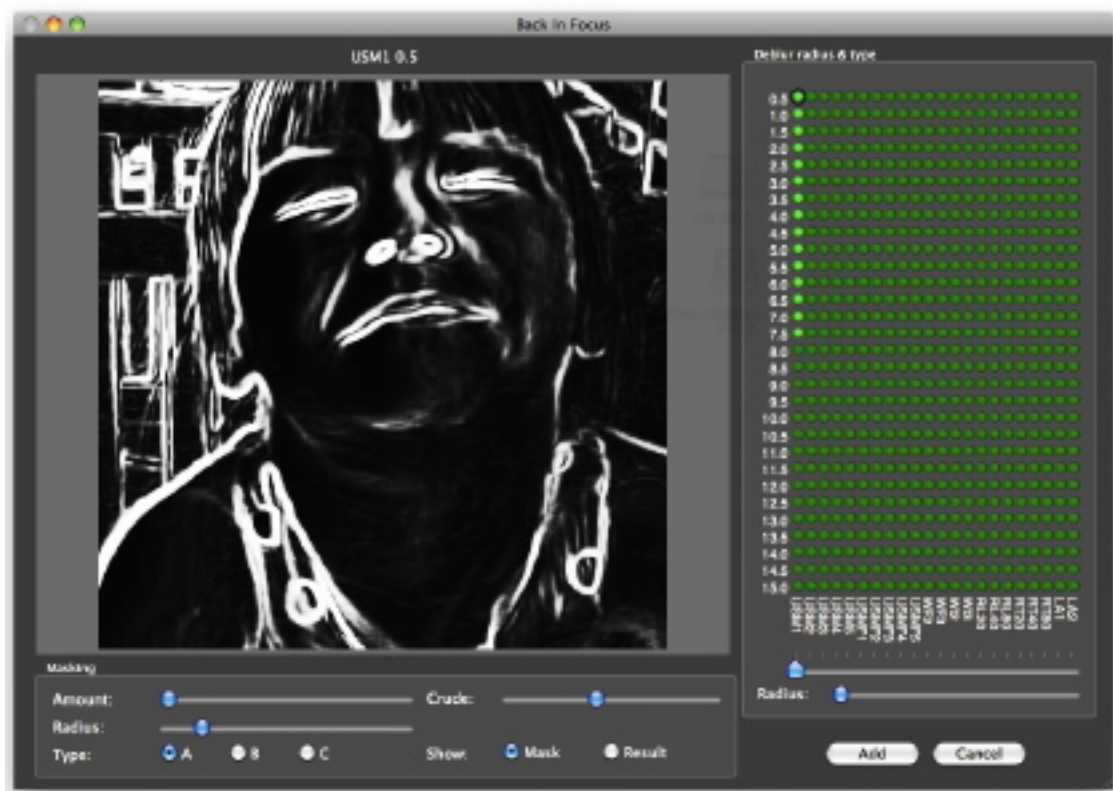
USM 1-5、USMF 1-5：写真の中にある縁をもっとシャープにするために使えます。

RL 20-80、RT 20-80、LA 1-2：ピントがズれているため失われた内容を復帰させることに利用できます。

WF 1-2とWI 1-2：ノイズをなくすためのアルゴリズムです。

マスクの設定

「Mask」のボタンをクリックすると、アロゴリズムが適用される部分（マスク）が表示される。設定を変えてアルゴリズムが適用される範囲（白い部分）を指定できます。ピントがズれている縁の指定をするとBack In Focusが効果的に働きます。



「Result」をクリックすると写真がまた表示されます。
気に入る結果が出ましたら、「Add」ボタンをクリックして下さい。
下記のような画面に変わります。



右側に今の作業の結果のイメージが表示されます。これをクリックするとこのイメージと元のイメージを比較できます。

他のアルゴリズムを使いたい場合は右側の「Original」をクリックしてから作業を最初から繰り返します。写真の部分によって一番適切なアルゴリズムが異なる場合がありますので複数のアルゴリズムを使ってさらにいい結果を出せます。

元の写真の訂正

アルゴリズムを使った作業が終わりましたら、その訂正結果を元の写真に適用します。

写真の全体に適用する

一つのアルゴリズムの結果を写真の全体に適用したい場合は、右側に表示されている使いたいアルゴリズムの結果を選択してから「Apply All」をクリックします。

写真の一部に適用する

一つ、または複数のアルゴリズムを写真の一部に適用したい場合はブラシを使います。

右側に表示されている使いたいアルゴリズムの結果を選択してから画面の下にある「Brush」を選択します。カーソルが「+」に変わります。ブラシの大きさと透明度は「Brush Size」（大きさ）と「Brush Opacity」（透明度）のスライダを使って変えられます。マウスを使って写真の修正したい部分の上でカーソルを動かします。

このやりかたで一つの写真に複数のアルゴリズムを適用できます。

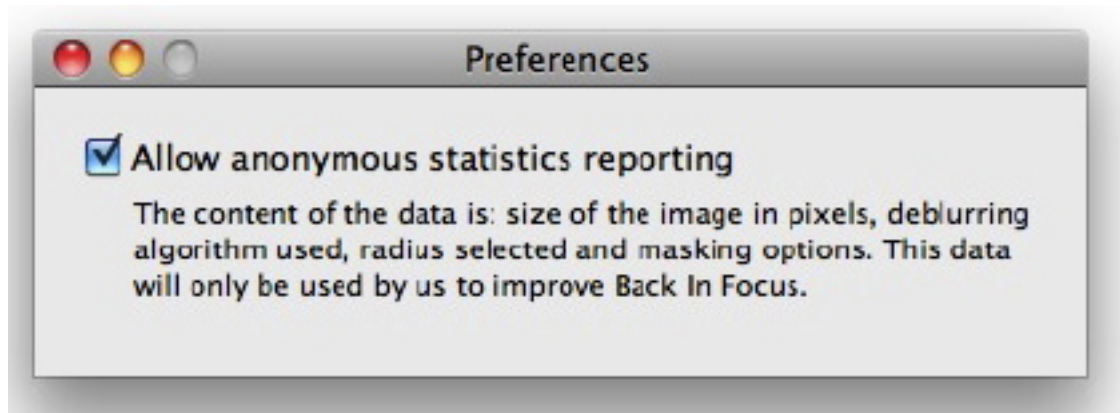
写真の保存

修正が終わりましたら「Save」ボタンをクリックして下さい。写真はPNG、TIFF、JPG形式で保存されます。

「Transfer metadata from source file」にチェックが付いている場合、元の写真のEXIFデータが保存されます。

Preferences (環境設定)

アップルメニューの「Preferences」を選ぶと下記の画面が表示されます。



「Allow anonymous statistics reporting」がチェックされているとコンピュータからBack In Focusの作業に関するデータが自動的に収集されます。詳しくは上記の「データ収集のスクリーン」を参照して下さい。

Back In Focusのアンインストール

「Back In Focus」アプリケーションをゴミ箱に捨てることでアンインストールできます。